

# 平成21年度 水道事業会計事業報告

## 業務状況 (表①)

平成21年度においては、給水人口、年間総配水量、年間有収水量について、前年度を下回る結果となりました。一方、有収率は増加していますが、その要因は、平成20年度より実施している漏水対策などによるものと考えられます。

## 財政状況 (表②)

本年度の総事業収益は3億2338

項目	業務量	前年度比
給水人口	23,219人	-0.76%
給水戸数	7,239戸	+2.86%
年間総配水量	2,991,430 m <sup>3</sup>	-3.26%
年間有収水量	2,437,839 m <sup>3</sup>	-1.64%
1日最大配水量	15,064 m <sup>3</sup> (平成21年12月31日)	-7.45%
有収率	81.49%	+1.67%
導送配水管延長	297,363.9 m	+0.01%

## 表② 財政状況

区分	21年度決算額	20年度決算額
収入	3億2,338万7千円	3億5,790万9千円
支出	3億5,938万1千円	3億5,432万2千円
差引	-3,599万4千円	358万7千円

## 【資本的収支 (税込)】

区分	21年度決算額	20年度決算額
収入	4,093万6千円	1億6,283万8千円
支出	2億5,694万4千円	2億4,928万6千円
差引	-2億1,600万8千円	-8,644万8千円

万7千円、総事業費用は3億5938万1千円となりました。この結果、当年度は純損失3599万4千円を計上する結果となりましたので、前年度繰越利益剰余金58万7千円を充当し、残額3540万7千円に利益積立金を充当します。一方、資本的収入は4093万6千円、資本的支出は2億5694万4千円となりました。この結果、2億1600万8千円の不足額は、過年度分損益勘定留保資金、および当年度分損益勘定留保資金で補填しました。

## 表③ 主な拡張事業

事業名(工事名)	地 係	事業費(工事費)
鹿谷水源地ポンプ増設工事	鹿谷町保田	936万6千円
主要地方道篠尾・勝山線配水管移設工事	鹿谷町北西俣	476万4千円

## 表④ 主な改良事業

事業名(工事名)	地 係	事業費(工事費)
法恩寺膜ろ過設備膜モジュール取替工事	170字	1,291万5千円
若猪野ポンプ場耐震補強工事	若猪野	1,078万4千円
立川水源地充電器盤・インバータ盤修繕工事	立川町2丁目	714万円

**総括事項**  
毎年安心できれいな水道水の安定供給を図りながら、勝山市水道事業の健全な財政基盤の確立に努めています。主な収入である水道料金収入は、給水人口の減少および景気低迷による製造業の使用水量の減少により、対前年比1.27%の減収となりました。一方、支出においては、減価償却費や企業債の元金償還が増加し、経営は厳しい状況が続いています。今後、清浄で安全な水の供給を図るため、既存水道施設の維持管理の充実を怠ることなく、また累増する企業債の元金償還に要する費用、および減価償却費に対応し得る経営基盤の確立が必要と考えています。

なお、平成21年度中に開催した勝山市上下水道料金制度協議会において適正な料金制度について検討いただいた結果を踏まえ、水道事業会計の健全な経営のため、平成23年度および平成24年度に水道料金の値上げが決定しています。

水道事業会計決算の詳細については、決算書が市立図書館に備えてありますのでご覧ください。

上下水道課 (☎88・8109)

## 水道料金表 (税別) (円)

メーター口径	基本料金 10m <sup>3</sup> まで			超過料金 1m <sup>3</sup> につき		
	22年度	23年度	24年度	11m <sup>3</sup> ~30m <sup>3</sup>	31m <sup>3</sup> ~100m <sup>3</sup>	101m <sup>3</sup> ~
13ミリ	1,050	1,100	1,150	22年度 105	120	145
20ミリ	1,200	1,250	1,300	11m <sup>3</sup> ~30m <sup>3</sup>	31m <sup>3</sup> ~50m <sup>3</sup>	51m <sup>3</sup> ~100m <sup>3</sup>
25ミリ	1,400	1,450	1,500	23年度 113	128	130
40ミリ	1,600	1,650	1,700	24年度 120	135	140
165						

口径50ミリ以上は省略

※22年度とは、平成23年4月検針分(3月使用分)までをいい、23年度とは、平成23年5月検針分(4月使用分)から平成24年4月検針分(3月使用分)を、24年度とは、平成24年5月検針分(4月使用分)以降を指します

# 1億3489万9千円増額の 一般会計補正予算案などを可決

9月定例会市議会が9月3日から21日までの日程で開かれました。

山岸市長は招集のあいさつで、「市長と何でも語り合う会や、市内10地区で開催した地区別座談会では第5次勝山市総合計画の基本理念や、市民アンケート結果から浮かび上がってきた基本的な視点について説明した。また、地区別・校区別座談会では小中学校再編・新体育館建設に関する素案についてご説明した。これまでにいただいたご意見、ご提案の内容について研究・分析を進めている。10月下旬を目安に十分精査する中で、現在の素案の再検討を行い、その結果を再度お示しし、市民の皆さまの意思を最大限尊重し、総合計画へ反映していきたい。」と述べました。

## 決まった内容について

### ○予算

一般会計は1億3489万9千円を増額し、総額を118億3100万9千円としました。増額補正の主な内容は、がん検診無料化制度の拡充(個別検診)、低所得者の新型インフルエンザ予防接種費用助成、鳥獣害予防用ネット柵設置費用助成、および雇用対策に関する費用となっております。

特別会計は、農業集落排水事業、国民健康保険、老人保健、介護保険の補正が、いずれも可決されました。

### ○条例等

- ・勝山市火災予防条例の一部改正(防火対象火気設備などの追加)
- ・勝山市消防手数料条例の一部改正(大型油タンクの検査手数料軽減)
- ・勝山市子どもセンターの設置及び管理に関する条例の廃止について(施設を改修し、(社)シルバー人材センターとするため廃止)



招集のあいさつを述べる山岸市長

### ○その他

- ・消防緊急指令システム購入契約締結が可決されました
- ・陳情1件が趣旨採択、請願1件と陳情5件が継続審査となりました

### ○委員の選任

- ・勝山市固定資産評価審査委員会委員 松崎 洋一(村岡町柝神合)

## 議長に清水清蔵議員 副議長に松村治門議員

9月3日の本会議において、村田與右工門議長が辞職し、清水清蔵副議長が議長に当選しました。また、松村治門議員が副議長に当選しました。



清水清蔵議長



松村治門副議長

## 10月は3R推進月間

ごみを減らし、環境にやさしい循環型社会を実現するためには、家庭や地域における「3R(リデュース、リユース、リサイクル)」の推進が不可欠です。  
Reduce(リデュース) ゴミの発生抑制  
Reuse(リユース) 再利用  
Recycle(リサイクル) 資源化

## マイバッグで環境に優しく

私たちが買い物をする時に、マイバッグを持参してレジ袋をもらわない、過剰包装なものを選ばない、詰め替え商品を選ぶなどの行動をとることも「3R」活動であり、ごみの減量化と密接に繋がっています。平成22年4月1日からは、市内量販店においてレジ袋の有料化が実施されており、マイバッグの持参率は、非常に高い水準を保っています。

